

平成27年（2015）7月 入域観光客数概況

7月の観光客数は、71万4,000人
対前年（H26）同月比 +6万0,100人、+9.2%
～7月の過去最高、中国客は初の単月4万人超～

入域状況

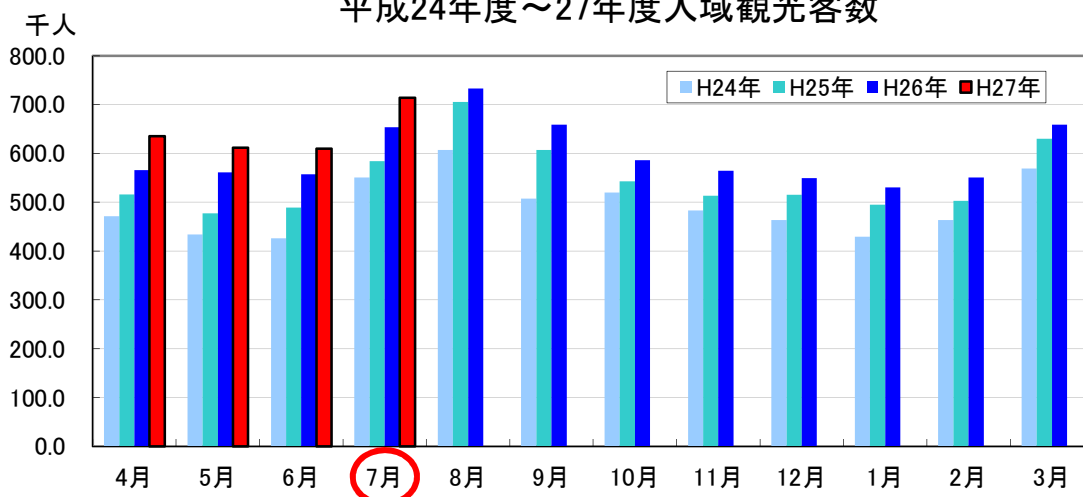
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	551,000 人	561,600 人	△ 10,600人	△ 1.9%	77.2%
外国客	163,000 人	92,300 人	+ 70,700人	+ 76.6%	22.8%
合計	714,000 人	653,900 人	+ 60,100人	+ 9.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	551,000 人	561,600 人	△ 10,600人	△ 1.9%	79.3%
外国客	143,600 人	81,400 人	+ 62,200人	+ 76.4%	20.7%
合計	694,600 人	643,000 人	+ 51,600人	+ 8.0%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、三度にわたって来襲した台風による影響や、9月のシルバーウィーク等への旅行時期の分散化により、東京・大阪・名古屋方面において旅行商品の販売等が一部、伸び悩んだことなどから、前年度を下回った。

8月以降は、各航空会社の航空路線の拡充や、9月のシルバーウィーク予約状況の好調による混み合いを避けた振替需要等も期待できることから堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

7月は、台風の影響が懸念されたものの、中国本土の3都市からの相次ぐ新規就航を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数的大幅な増加により、空路・海路ともに好調に推移し、4ヶ月連続で単月の過去最高記録を更新した。特に中国客は単月で初めて4万人を超えた。

8月は、夏休みの旅行需要に加え、引き続き、航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数的大幅な増加が予定されており、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	287,400 人	292,700 人	△ 5,300人	△ 1.8%	52.2%
関西方面	112,000 人	113,100 人	△ 1,100人	△ 1.0%	20.3%
福岡方面	63,500 人	61,500 人	+ 2,000人	+ 3.3%	11.5%
名古屋	42,700 人	44,900 人	△ 2,200人	△ 4.9%	7.7%
その他	45,400 人	49,400 人	△ 4,000人	△ 8.1%	8.2%
合計	551,000 人	561,600 人	△ 10,600人	△ 1.9%	100.0%

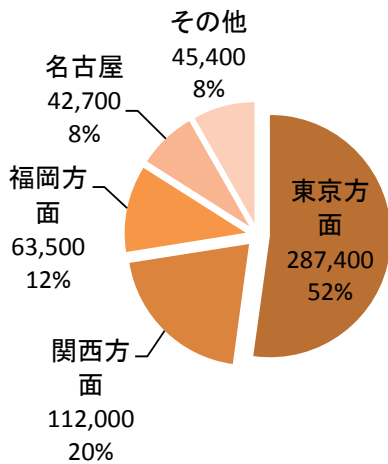
※国内海路客1,800人を含む(鹿児島1,800人)

外国客 国籍別入域状況

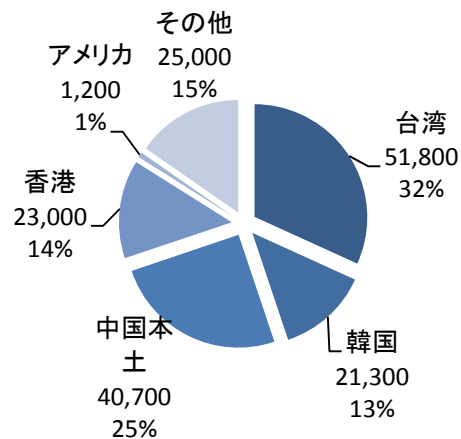
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	51,800 人	51,800 人	39,200 人	+ 12,600人	+32.1%	31.8%
韓国	21,300 人	21,300 人	10,200 人	+ 11,100人	+108.8%	13.1%
中国本土	40,700 人	40,700 人	15,200 人	+ 25,500人	+167.8%	25.0%
香港	23,000 人	23,000 人	12,800 人	+ 10,200人	+79.7%	14.1%
アメリカ	1,200 人	1,200 人	800 人	+ 400人	+50.0%	0.7%
その他	25,000 人	5,600 人	14,100 人	+ 10,900人	+77.3%	15.3%
合計	163,000 人	143,600 人	92,300 人	+ 70,700人	+76.6%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	37,600 人	37,600 人	+28.8%	35.6%	14,200 人	14,200 人	+42.0%	24.7%
韓国	21,300 人	21,300 人	+108.8%	20.2%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	22,200 人	22,200 人	+146.7%	21.0%	18,500 人	18,500 人	+198.4%	32.2%
香港	19,200 人	19,200 人	+51.2%	18.2%	3,800 人	3,800 人	+3700.0%	6.6%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	+25.0%	0.9%	200 人	200 人	皆増	0.3%
その他	4,200 人	4,200 人	+35.5%	4.0%	20,800 人	1,400 人	+89.1%	36.2%
合計	105,500 人	105,500 人	+62.3%	100.0%	57,500 人	38,100 人	+110.6%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、羽田－石垣路線等、離島方面は好調を維持したものの、上旬と下旬に来襲した台風による影響もあり、前年度を下回った。
8月以降は、各方面との競合による影響が懸念されるが、各航空会社による航空路線の拡充や、9月のシルバーウィーク等の予約が好調となっていることから、堅調に推移する見込み。

大阪

7月は、関西－宮古路線や関西－那覇の一部路線は好調を維持したものの、9月のシルバーウィーク等による旅行時期の分散化や、台風の影響もあり、前年度を下回った。
8月以降は、お盆休みを中心に好調に推移し、9月のシルバーウィークの予約状況の好調による混み合いを避けた振替需要等も期待されることから、堅調に推移する見込み。

福岡

7月は、各航空会社による航空路線の拡充や、各旅行社による旅行商品の販売がファミリー層を中心に好調だったこと等により、前年度を上回った。
8月以降は、引き続き、各航空会社による航空路線の拡充や、9月のシルバーウィークを中心に旅行商品の販売状況が好調に推移していること、旅行時期の分散による駆け込み需要等も期待されることから、好調に推移する見込み。

名古屋

7月は、ジェットスター・ジャパンの名古屋－那覇路線による航空路線の拡充はあるものの、上旬と中旬に来襲した台風による影響もあり、前年度を下回った。
8月以降は、各方面との競合による影響が懸念されるが、ANA、スカイマークによる夏場の増便や、各旅行会社による旅行需要獲得に向けた商品販売を展開中であることから、堅調に推移する見込み。

台湾

7月は、台風の影響で航空便やクルーズ船に一部、欠航が生じたものの、タイガーエア台湾の台北－那覇路線の新規就航や、大型クルーズ船の寄港等により、空路・海路客ともに増加し、前年度を上回った。
8月以降は、引き続き、航空路線の拡充等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

韓国

7月は、台風の影響で航空便に一部、欠航が生じたものの、ジンエアーによる夏場の増便含む航空路線の拡充などから、前年度を上回った。
8月以降は、夏休みの旅行需要も好調に推移していることや、9月にはピーチ・アビエーションのソウル－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・北京

7月は、中国国際航空の北京－那覇路線の増便や、天津－那覇の新規就航等による航空路線の拡充から空路客が増加し、前年度を上回った。
8月以降は、ファミリーや個人旅行を中心に旅行需要が高まっていることや、引き続き、航空路線の拡充等により、空路客の増加が見込まれることから、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

7月は、中国東方航空の福州及び杭州－那覇路線の新規就航や、上海及び廈門発クルーズ船の寄港回数の増により、空路・海路客ともに、前年度を上回った。
8月以降は、引き続き、航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数の増加が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

7月は、引き続き、前年同月に比べて香港ドラゴン航空、ピーチ・アビエーションの香港－那覇路線の増便による航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年度を上回った。
8月以降は、引き続き、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。